ないのではないか」「学会 HP で周知するのか」「学会員にはどのような形で周知するのか」など意見がだされた。議論の結果、「学会員への周知はメルマガもしくはニューズレターで周知する。どのような方式にするかは大坂会長のご判断に一任する」「学会HPには掲載しない」となった。

2. 学会賞選考委員会の立ち上げ

○選考委員会の立ち上げが遅くなってしまったため、この理事会内で方向性を決めてすすめることとなった。

○現在の選考委員は 5 名（岩田年彦、大坂洋、齋藤哲哉、高橋勝也(新里泰孝会員が途中で委員から外れて後任)、水野英雄）。任用、任期に関する規定なし。事務局長から、半数ほど改選したい、事前に八木(紀)先生と山根先生のお二人から内諾を得ている、との報告あり。

これに関して、現有 5 名の選考委員に事務局長から、意向確認をメールで行うことになった。

3. その他

○水野新会長よりご挨拶いただいた。

○裏理事より「現在、大学で学部長を拝命している。国際交流学術理事の仕事も軌道にのってきたこともあり、髙橋(勝)先生かどなたかにお願いしたい」

○新体制のもとの理事の仕事、部会など一覧にしてほしい。国際交流学術委員、編集委員、地域研修会委員・・・　（以上）

会費納入のお願い

2022 年度の年会費の納入をまだされていない方はなにとぞよろしくお願いいたします。(11 月に学会誌共に納付書郵送済）前年度(2021 年度)以前の会費の納入がまだの方には複数年分の会費が振込用紙に記載されておりますので、ご注意お願いいたします。 また、特別会員制度により、65 歳以上の方は年会費が 2,500 円となります。該当する方は学会事務局へのメール(jimukyoku@ecoedu.jp)もしくは、事務委託先 株式会社サラトまで御連絡願います。下記の振込口座での振込みも可能です。

ゆうちょ銀行　口座番号:00920-3-252875
口座名義:経済教育学会

年会費:正会員 5,000 円、学生会員（大学院生を含む）2,000 円、65 歳以上の会員 2,500 円・経済教育学会は日本学術会議協会学術研究団体（詳細は http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html）です。学会費は所属先の校費にてお支払頂ける場合があります。

以下引用の規約にもとづき、過去の会費の未納分がある方は早急に会費を納入願いしております。「2年間にわたり会費を納めないものは，原則として会員の資格を失う。学会誌送付時で年会費未納の会員については，その旨を伝えて，本会の出版物の配布を保留し、会費納入後に送付することとする」（会則 4 より）」(2016 年 3 月春季理事会で改正)

＜会員の異動＞新入会員 2022 年度新規入会会員（ニューズレター第 37 号以降)

正会員　赤石秀之（国士舘大学政経学部経済学科）
島倉原（株式会社クレディセゾン）　初澤敏生（福島大学）
村上敬進（大阪国際大学）　山本龍一（日本証券業協会）
戸越政幸（長州町役場長州町教育委員会）
松林智之（長州町役場長州町教育委員会）
渡辺伸子（MEELD）
佐々木崇（さいたま市立浦和南高等学校）
瀬尾崇（金沢大学経済学経営学系）

特別会員　井貝浩（大阪府立三島高校）水澤一廣（北海道十勝郡浦幌町長）

経済教育学会　ニューズレター 第 38 号
2023 年 1 月 1 日発行
発行人　経済教育学会会長　水野勝之
編集人　久井田直之
発行所　日本大学経済学部　久井田直之研究室
〒101-8360　東京都千代田区三崎町 1-3-2
電子メール　jimukyoku@ecoedu.jp　⇒　新しく変わりました
学会費送金先 ゆうちょ銀行
振替口座番号 00920-3-252875
印刷所　株式会社 エムディーエス　03-5829-4960

JSEE The Japan Society for Economic Education

ニューズレター 経済教育学会

2023. Jan. No.38

会長挨拶・・1　全国大会報告・・2　春季研究集会案内・・3 学会賞募集案内・・4 理事会議事録・・5～8　学会案内・・8

会長に水野勝之理事が選出されました。ご挨拶を掲載します。

会長就任のご挨拶　　経済教育学会会長　水野勝之（明治大学）

長引くコロナ禍で日本全体が疲弊していると同時に、日本の学術界も元気がない。この夏、韓国経済教育学会、アメリカでの学会と2回海外の学会に参加したが、いずれも通常と変わらぬ様子であるように思えた。オンラインでのおとなしい議論の日本の学会とは異なり、海外の学会は活気に満ち溢れ、懇親会も学究の場となっていた。コロナに対する姿勢が異なるのはやむを得ないが、オンラインが主で懇親会の場も持たない日本の学術界はますます世界に取り残されていかないか不安になった。そこで、新会長としての希望を語りたい。

第 1 の希望としては、世界で遅れをとらないためにも、研究での国際交流を活発化させたい。協力協定を結んでいる韓国経済教育学会との協力の強化は不可欠であり、連携を続けていきたい。前回会長時水野が韓国経済教育学会に参加し、現地で両学会の協定を締結してから 5 年になる。まさに今年で 5 周年である。コロナ禍で往来は一時途絶えたものの、両学会の関係はより一層深まってきた。本年 8 月の韓国経済教育学会全国大会（韓国：慶尚大学校）には当時の大坂洋会長をはじめ裴光雄理事も参加した。大坂会長は韓国経済教育学会の開催にお祝いを述べ、水野は 10 月に開かれる日本の全国大会の意義と内容について報告した。10 月のこちらの学会には金景模会長と金龍民先生がご訪問くださった。両学会の会長の相互訪問は両学会のきずながますます強まった証である。まず、韓国経済教育学会との連携を継続したいと考えている。

第 2 の希望としては、減少してきた本会の会員数を増やしていきたい。経済教育学会の会員数が一時の約 400 名から 200 名近くまで落ち込み危機感を抱いていたが、底打ちをして近年盛り返している。多くの学会が立ち上がっている今日、研究者が分散して各学会の所属会員数が少なくなるのはやむを得ないことだが、伝統のある本会はある程度の会員数を維持していきたい。魅力ある学会活動を行うことにより若者からシニアまで幅広い年代の会員が集い、会員が本音で議論を交わせる場としたい。

第 3 の希望としては、小中高生や大学生の地域での活動の経済的・教育的効果を検証したい。多くの小中高生や大学生が各地域で活躍する記事やニュースを見聞きするが、それらの情報を交換し合い、より効果的にするにはいかにするべきかの議論の場としたい。各学校、各大学が、そして各地方が縦割りに個別に実施するだけでなく、他の学校、大学や地域に横断的に波及させるためにも本会で活発な議論を交わしていきたい。小中高大の縦の連携と地域を超えた横の連携を強化するきっかけを作りたい。

これら以外にも考えていかなければならないことは数多くある。また、社会の変化に応じて新たな課題が生まれてくるかもしれない。そうした課題について一つ一つ議論し、一歩一歩着実に解決に近づけて行ければと考えている。会員の皆様との前進を希望している。ご協力頂ければ幸いである。

第 38 回経済教育学会全国大会報告

コロナ禍により多くの学術大会がオンラインで開催されているなか、経済教育学会においては、2022 年 10 月 1 日（土）、2 日（日）の 2 日間、対面とオンラインの同時開催による全国大会を明治大学駿河台校舎にて開催した。対面出席者数は 2 日間延べ 86 名、ZOOM 出席者数は 2 日間延べ 91 名というように、多くの方に参加いただいた。

1日目は本会がお招きした韓国経済教育学会長の金景模教授（慶尚大学校）から基調講演「SDGs と経済教育」を頂いた後、同テーマに基づくパネルディスカッションが、金景模教授、金龍民教授（釜山教育大学校）、八木紀一郎名誉教授（京都大学）、赤石秀之専任講師（国士舘大学）、金子幹夫総括教諭（三浦初声高等学校）の5名により行われた（司会者は後藤晶 明治大学専任講師）。SDGs は経済問題であると同時に、身近なところから解決策を検討する教育テーマでもある。韓国と日本の SDGsへの取り組みの強弱が明白になり、その背景についてディスカッションが行われた。また、合理性を前提とする従来の経済学と合理性よりも持続性を重視するSDGsの関係についても幅広い議論がなされた。経済学が SDGs という新時代に向け、どのように関わるかについて約 3 時間に渡り議論が交わされた。

2 日目の分科会では、午前・午後とテーマ別に 8 つの会場を設け、合計して 46 の研究報告が行われた。3 年ぶりに対面を含んで開催したこともあり、オンライン参加者も交えた活発な議論が多く見られた。特に対面で参加された方々からは「対面参加ができて良かった」とのお言葉を頂き、コロナ禍のなか、十分満足のいく学会大会を開催できたように考えている。

本学会においては、対面とオンラインの同時開催はコロナ禍では今大会が初めてであり、実行委員一同、手探り状態で準備を進めてきた。 運営上、至らないところもあったかと思うが、会員の皆様のご協力のおかげで無事に第 38 回全国大会を成功させることができたと考えている。

この場にて感謝申し上げ、全国大会のご報告とさせていただく。

第 38 回経済教育学会全国大会実行委員長　水野勝之

＊2022 年 10 月 7 日経済教育学会メールマガジン原稿を改変

2023 年春季研究集会ご案内と報告者の募集

実行委員長　阿部 信太郎
（城西国際大学）

経済教育学会 2023 年春季研究集会を下記のように開催いたします。会員各位の研究の発展と交流の機会となりますよう、ご参加と研究報告のお申込みの程よろしくお願いいたします。

なおプログラムに変更等がある場合は、学会サイトでお知らせします。開催日が近づきましたら学会サイトのチェックもお願いいたします。また、昨今の状況を鑑み、懇親会の開催は予定しておりません。

以上、よろしくお願いいたします。

日時：　2023 年 3 月 4 日（土） 13:00～17:00 予定（受付 12:40 より）
会場：　城西国際大学紀尾井町キャンパス 1 号棟 （会場の教室は学会ウェブサイトでご案内します）
地下鉄有楽町線麹町駅（5 分）、半蔵門線半蔵門駅（8分）、地下鉄各線永田町駅（10 分）

＊ 対面での会を予定していますが、状況によっては急きょオンラインに切り替える場合があります。その際は、学会サイト等でお知らせします。開催日が近づきましたら、学会サイトの確認をお願いいたします。

アクセス：　https://www.josai.jp/access/
本学紀尾井町キャンパスは 1 号棟から 5 号棟まであります。会場は、麹町駅最寄りで、文芸春秋本社隣、プリンス通りの 1 号棟です。お間違いないよう地図でご確認ください。
〒102-0094　東京都千代田区紀尾井町 3-26

《プログラム予定》（＊発表申込件数などの関係で時間は前後する可能性があります）
理事会　12:00～12:50
研究集会
12:40　　開場(12:40) 受付開始
13:00～15:00 自由論題
15:00～15:15 コーヒーブレイク
15:15～17:00 自由論題 及び理事会からのお知らせ・自由討論など

懇親会　現在の状況に鑑み予定しておりません。

《研究発表申込み》　締切： 2023 年2月15日（水曜日）必着
申込方法：学会ウェブサイトからオンライン申込（下記申し込みフォーム）をお願いします。必要事項はオンライン上に表示されます。　https://forms.gle/eqMqjGpLRWNKXcFRA
①報告者名 ②ご所属・職務 ③連絡先電話番号 ④メールアドレス ⑤発表テーマ ⑥発表のキーワードを3つ程度 ⑦発表要旨（400 字程度）。共同発表の際は、代表者の方を最初にご記入ください。発表者は共同発表者も含めて会員に限ります。申込者が多い場合は、発表テーマにより実行委員会で選定します。

《研究集会加申込み》 締切： 2023 年 2 月 28 日（火曜日）。学会ウェブサイトからオンラインでお申込みください（右記申し込みフォーム）。　https://forms.gle/eqMqjGpLRWNKXcFRA
《連絡先》 阿部信太郎　abes@jiu.ac.jp

第6回学会賞推薦募集

第6回学会賞の推薦を下記の内容で受け付けます。自薦・他薦を問わず、多くの推薦をして下さいますよう、御案内申し上げます。尚、学会賞選考は隔年で実施するため、下記1及び2の「業績」は 2021 年度～2022 年度の 2 年間（2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日）のものを対象とします。

賞の種類と主旨、被推薦対象者
1. 経済教育学会賞（研究部門）…経済教育研究において顕著な業績を残した研究者
2. 経済教育学会賞（教育実践部門）…経済教育実践において顕著な業績を残した教員
3. 経済教育学会奨励賞…経済教育の発展に寄与することが大きく期待される若手会員
4. 経済教育学会特別賞…会員外で経済教育の発展への貢献が著しいと認められる個人
5. 経済教育学会功労賞…学会活動の発展において貢献が著しいと認められる個人

上記の各賞の被推薦対象者の資格を満たさない場合には推薦を受理しません。

被推薦対象者
3 は 2023 年 4 月 1 日現在で 41 歳未満の会員。また、5 は会員、4 は非会員に限定し、1、2、5 は会員歴が 5 年以上の者を対象とします。

推薦資格者
会員歴が 1 年以上の者。一人の会員が推薦できるのは、1つの賞に関し自薦も含め1件までとする。また、一人の会員が同一の候補者を複数の賞の候補者として推薦はできないものとする。

表彰内容： 賞状、楯

推薦受付期間
このニューズレター発行日から 2023 年 3 月 31 日（水）（必着）まで。提出する御意向がある方は 3 月 15 日までに事務局（HP に記載）にお知らせください。

推薦受付先：経済教育学会事務局
郵送またはメール添付で専用の様式で御提出下さい。
・郵送の場合の宛先
〒101-8360 東京都千代田区三崎町 1-3-2 日本大学経済学部 久井田直之研究室気付 経済教育学会事務局
・メール添付の場合のアドレス jimukyoku☆ecoedu.jp 上記の☆を半角のアットマーク＠に変更願います。

経済教育学会 理事会 議事録
日時：2022 年 8 月 6 日（土） 13 時～、ZOOM
出席者（五十音順、敬称略）：阿部信太郎、岩田年浩、大坂洋、金子幹夫、久井田直之、越田年彦、炭谷英一、高橋勝也、髙橋桂子、土居拓務、裴光雄、水野勝之、宮下春樹、八木紀一郎
書記：髙橋桂子

議長の選出：慣例に従い、大坂会長
書記の選出：議長の指名により、髙橋桂
定足数の過半数を超えていることを確認（参加者数 14 人、委任状 4 通）

議事に先立ち
・金子幹夫先生（神奈川県高校）。新たに学会誌編集委員（理事）として参加いただいている。→ご挨拶

【報告事項】
1 夏季 KEEA 大会参加（報告：裴光雄先生）
2022 年 8 月 25 日(木)、韓国・慶尚大学・現会長の勤務校にて開催される。
経済教育学会も協賛。
テーマ「日韓経経済教育の現状と経済教育の模索」
You tube でも配信予定。

日本側からの参加者
来賓挨拶：大坂学会長
韓日共同学術大会：
第 1 報告 コロナ禍の経済教育の必要性（水野勝之先生・明治大学）
第 2 報告 日本の高校新科目「公共」での教育（高橋勝也先生・名古屋経済大学：ZOOM）、討論者は裴光雄先生
第 3 報告 韓国側の発表 「統合社会」における経済教育：相違点、共通点は何か

※協定枠（2 枠）での派遣：大坂洋会長、裴光雄先生
〇上記すべて理事会にて承認された。

●HP 等の管理の現状（報告：大坂会長）
・メルマガ等の引き継ぎがうまくいっていない。
・学会のサーバーを置いている会社が、スパムメールの発信元になっていることなどから、迷惑メールに振り分けられたり、届かないという事態が発生している。
・提案：①メルマガの受信は職場アドレスではなく、Gmail で受信していただきたい。②Google Form を使用していきたい。
・サーバー：version up の時期にきている。システム改変の作業が必要になり、大会終了後に一時的にサーバーをストップすることになるかもしれない。時期がきたらアナウンスする。
〇これらが理事会で承認された。

●その他
なし

【議事次第】
●会計報告（2021 年度）（報告：宮下先生、大坂先生）
・7／23（塩田先生）、8／3（浅野先生）の両日、会計監査を実施した。
・収入は対前年度増、支出は対前年度減で黒字状態にある。これは on line での運営になっていることが大きい。
・その他：①学会誌の保管に対する支払が遅れて 2022 年度に計上される。②領収書をもらったままのものが 2 点あり（1 人あたり 5,000 円）、③学会賞関係の請求書を会計にお渡しすることを失念した。これらはすべて 2022 年度決算で精算する。

●学会賞の規定の変更（報告：大坂先生）
・功労賞が出ていないことに対する変更→①功労賞は、理事会が推薦できるようにできる。②推薦状の締め切りなどの規定は排除。③亡くなられた方を推薦できるか。想定している先生は森岡孝二先生など、受賞対象業績の出版中もしくは出版直後に亡くなったケース。これに関して岩田先生、八木先生から意見を頂く
〇理事会では、亡くなった先生に功労賞を出すことに異論はなかった。今後は、選考委員会で議論いただくこととなった。

●2022 年度全国大会のプログラム（報告：土居拓務先生、水野勝之先生）
日時：2022 年 10 月 1 日～2 日、対面・ZOOM のハイブリットになる予定。ただし、東京都で何か規制が発令されると、明治大学も同じ動きをすることになる。
実行委員長：水野勝之先生

シンポジウム（土）2022 年 10 月 1 日 13:00～16:00
学会テーマ「流行に踊ることのない経済教育ーその諸相と再考ー」

主催：経済教育学会
共催：韓国経済教育学会
後援：明治大学経済教育研究センター
※韓国から韓国経済教育学会会長　金景模先生（慶尚大学）と金龍珉先生（釜山教育大学）のお二人が来日される。当該シンポジウム用に実行委員長が明治大学に補助金申請して採択された。韓国の両先生に謝礼 7 万円＋5 万円＋通訳 5 万円。旅費宿泊費お二人で 22 万円ほど計上。

・司会者について議論する→司会者への依頼は実行委員会から行う。
分科会 1　AM　新里先生・瀬尾先生、PM　大坂先生・炭谷先生
分科会 2　AM　井草先生・宇佐美先生、PM　裴光雄先生・＊＊＊
分科会 3　AM　高橋勝也先生・金子幹夫先生、PM　＊＊＊
分科会 4　AM　越田年彦先生　PM　＊＊＊
・司会者：ZOOM でも対面でもどちらでも良い。
・発表スタイル：例年通りで「報告 20 分＋質疑 10 分」
→発表者が確定した。追って、「報告要旨」（見開きで印刷、A4、書式＝タイトル文字ポイントなどは昨年度踏襲、PDF・頁番号なしを依頼する。書式が大幅にずれている場合は、本人による書き直しで対応）などを連絡する。
→予稿集　締切　8／31 に延長
→松尾匡先生の原稿は、差し替えで対応する可能性があることを理事会として承認した。

●次年度 2023 年度全国大会の開催校
・2023 年度は関西方面か。未定。
・大坂洋会長と次期会長で候補者に働きかけを行うこととなった。

●次期会長
・慣例に従い、水野勝之先生（明治大学）。水野勝之先生に次期会長をお引き受けいただくこと内諾されており、理事会も歓迎する方向であることが確認された。今年度の総会時に発表する。

●その他
・学会誌の編集委員長：41　号までは久井田先生が担当する。42　号以降は新編集委員長として高橋桂子先生が就任する→理事会で承認された。
・功労賞候補：推薦時期（例年 3～4 月）の半年前までに推薦してほしい。推薦があって初めて選考委員会の審査を受けることになる。本学会創設時のことをご存知の岩田年浩先生にもお力添えをいただくことになろうかと思う。　　（以上）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

経済教育学会理事会議事録

2022 年 10 月 1 日

参加者（会場）：久井田、高橋（勝）、徳丸、裵、水野（勝）、八木（紀）
参加者（オンライン）：阿部、岩田、高橋（桂）、松尾、宮下、炭谷

冒頭：
久井田事務局長より、大坂会長が急病のため、理事会および全国大会に不参加との報告があった。高橋（勝）会員が司会、徳丸会員が書記を勤めることが承認された。

報告事項：
①　本日から 2 日間開催される全国大会について
- 土井会員より、メールにて告知した通り、予定通り全国大会を実施することが報告された。本日（10/1）はシンポジウムとパネルディスカッション、総会が行われ、明日（10/2）は各セッション実施の予定である。感染拡大状況に鑑み、安全のため、学会としての公式な懇親会は実施しない。
- 高橋会員より、発表者からオンラインか対面かの問い合わせが相次いでいるが、発表者が対面で発表するのかオンライン発表なのか、事務局としてどの程度把握しているのかについて質問があった。土井会員より、会場にはスタッフが 1 名いるため、司会はオンラインでも対面でも構わないが、発表者の発表形態については把握していないとの報告があった。裵会員より、これから問い合わせてはどうかとの提案があり、土井会員が、本日中に発表者全員にメールにて問い合わせることが確認された。
- 炭谷会員より、明日のセッションで大坂会長と共同司会を行う予定であったが、代理の司会決定の必要があるとの提案があり、松尾会員が司会となることが決定、承認された。

②　その他
- 久井田事務局長より、本日のシンポジウム、総会に会長挨拶を予定していたが、会長欠席のため、代理を立てる必要があるとの報告があった。実行委員長の水野会員がシンポジウム、前会長の高橋会員が総会で、それぞれ代理で挨拶することが承認された。

審議事項：
①　総会での審議等について
- 久井田事務局長より、本日の総会資料に基づき、概要が説明された。会計事項については、例年宮下理事が担当報告しているが、今年度は公務につき欠席のため、代理で久井田事務局長が報告を行う。決算については既に理事会で承認済みのものを総会で承認を取る予定であり、会計監査も終了、承認を受けている。予算については、ほぼ例年通りであるが、コロナ禍に鑑み、zoom やウェブカメラの予算を計上した。会員については、退会者が少ないこともあり、近年微増傾向にあることが報告された。

②　学会賞の選考委員について
- 久井田事務局長より、学会賞を全国大会の後に募集を開始し、2023 年度 3 月末に締め切る予定であり、選考委員は決まっていないが、明日の理事会までに打診し、決定したいとの報告があった。

③　春季研究集会について
- 阿部会員より、来年 3 月上旬の土曜日（未定）に、千代田区の城西国際大学にて春季研究集会を開催予定であるとの報告があった。

④　2023 年度全国大会について
- 久井田事務局長より、大坂会長と相談し、来年度の全国大会は関西での開催が望ましく、立命館大学に依頼できないかとの提案があった。松尾会員より、現在闘病中のため、実施は難しいとの報告があり、炭谷会員より、会場校が必ずしも会長を務める必要はないとの意見があった。徳丸会員より、実施の場合は他大学の会員からの支援が必要であるが、会場を使用できるかどうかについては、大学に問い合わせ、前向きに検討したいとの報告があった。八木会員より、会場だけであれば、摂南大学も利用可能であることが報告された。

⑤　会長について
- 久井田事務局長より、大坂会長と相談の上、次期会長について水野会員を推薦したいとの提案があった。裵会員より、次期会長は理事会にて互選原理により選出される形式を取るべきとの意見があり、久井田事務局長より、前会長の直接指名という意はなかった旨が説明された。次期会長に水野会員が承認された。

⑥　その他
- 裵会員より、現在来日している韓国経済教育学会の金景模先生、金龍民先生が、長年にわたり、日本経済教育学会との国際交流に献身的に尽力されたことに対し、本日の総会にて、学会として感謝状を贈呈したい旨の提案があり、承認された。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

経済教育学会　理事会　議事録

日時　2022.10.2（日）　12:30-13:15
場所　明治大学リバティタワー　1084 教室
参加理事(会場)　井草剛、金子幹夫、久井田直之、越田年彦、高橋勝也、高橋桂子、土居拓務、徳丸夏歌、裵光雄、水野勝之、宮下春樹、八木紀一郎
参加理事(オンライン)　阿部信太郎、岩田年浩、炭谷英一
委任状：3 通
議長：越田年彦
書記：髙橋桂子

議題：報告事項

1.　大坂会長からのメッセージ
〇昨日の総会の場で口頭発表して学会員と情報共有してほしい、と大坂会長から指示が出ていたものだったが、様々なことがあり失念してしまったとの事務局長からの報告があった。そこで本日の理事会で報告し、文字にして記録に残す方向で進める。
〇大坂会長のコメント（注意喚起）
商業出版において本学会会員が関わる書籍がゴーストライターを使用していた事案が裁判によって明らかになりました。ゴーストライターはそれ自身違法ではありません。しかし、研究・教育業績に関連して研究倫理上問題になりえます。会員におかれましては、研究倫理上問題のある行動は謹んでいただくようにお願いいたします。

これに関して「理事会、理事だけでの情報共有では意味が